

東京 デザイン 巡り

東京国際空港編

今回は東京国際空港（羽田空港）に行ってきました。

飛んでいる飛行機を見上げると目に入るのが尾翼のデザイン。

この尾翼デザインにスポットを当てます。現在羽田空港には国内線・国際線合わせて26の航空会社が就航しています。

アメリカやイギリスの航空会社も就航しているのですが離発着時間が深夜の為、残念ながら今回は撮影できませんでした。国内および東アジア各国航空会社のデザインをご覧ください。



←日本航空
手前が旧デザインの「太陽のアーチ」、奥が2011年に復活した「鶴丸」です。現「鶴丸」が6代目のデザインです。

ソラシドエア→
会社名はスカイネットアジア航空。このくまモンが塗装された機体は「くまモンGO!」の愛称で熊本-羽田間で1機のみ就航しています。



←全日空
コーポレートカラーの「トリトンプール」で塗装されています。1982年頃からのデザインの様です。

エア・ドゥ→
機体デザインは「AIRDOらしさ」・「AIRDOの未来」をコンセプトに社内公募によって決定したそうです。



←スカイマーク
以前は5個の星がデザインされていましたが現在は大きな星が一つ描かれています。

スターフライヤー→
黒い機体は世界初！松井龍哉氏がトータルデザインし、2006年にグッドデザイン賞を受賞しています。



アジアナ航空（韓国）
2006年からの新デザインで韓国の伝統的な色使いになっています。



大韓航空（韓国）
「太極」をイメージしたシンボルマークが描かれています。



上海航空（中国）
白鶴が大空を舞う姿を表現しています。



キャセイパシフィック航空（香港）
コーポレートカラーの翡翠ベースに筆文字で翼をイメージしています。



中国東方航空（中国）
太陽の赤と大空の青に燕をイメージしたロゴマークです。



エバー航空（台湾）
サンリオと提携して「ハローキティジェット」を就航しています。



チャイナエアライン（台湾）
国花である梅の花がデザインされています。



中国国際航空（中国）
フェニックスをデザイン化したシンボルマークが描かれています。